

BOX ティッシュデータ作成の注意点

■イラストレータでのデータ作成

Adobe Illustrator でのデータ作成注意点



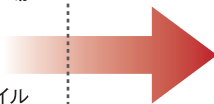
- 1 書類のカラーモードはCMYKでの制作をお願い致します。
(書類のカラーモードがRGBで作成されていますと、印刷時の色再現がモニタ上の色と異なる場合があります。)
- 2 印刷可能範囲いっぱいまでデザインされる場合、印刷範囲の天地左右に各3mmの塗り足しの作成をお願い致します。(塗り足しが無い場合、断裁時のずれにより白いフチが発生してしまう場合があります。)
- 3 極細の線(ヘアライン)は線幅0.25pt以上の制作をお願い致します。
(線幅0.25pt以下の線はプリンタでは出力されても印刷時には再現できない場合があります。)
- 4 テキストのアウトライン化をお願い致します。(制作者様の環境と製版環境が異なるため、文字化けが発生する場合があります。)
- 5 画像をリンク配置されている場合は、配置されている画像を含めて入稿をお願い致します。(配置画像が不足している場合、その部分が空白状態で印刷されてしまいます。)
- 6 保存時のIllustratorバージョンはお使いのバージョンで保存をお願い致します。(下位バージョン保存をしますと、見た目の差異が発生してしまう場合があります。)
- 7 保存時のファイル形式は「Illustrator(.ai)」形式をお願い致します。
(保存時にIllustratorEPS(.eps)で保存されますと、配置されているファイルの形式によってデータ化けが発生してしまいます。)

■フォトショップでのデータ作成

Adobe Photoshop でのデータ作成注意点

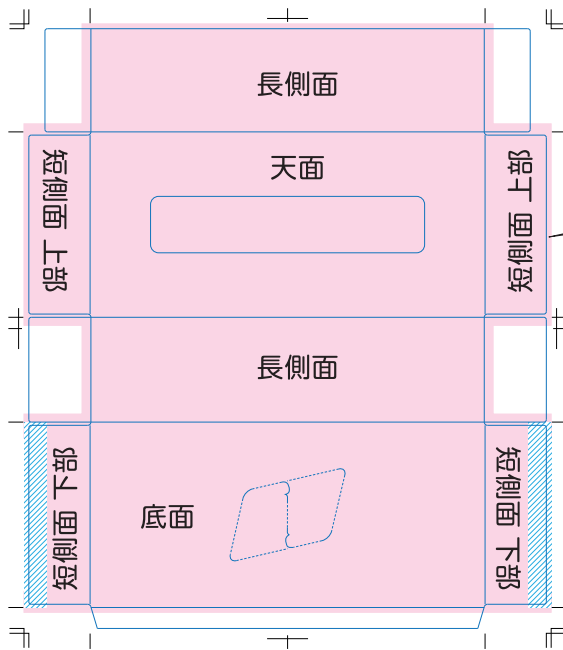


- 1 書類のカラーモードはCMYKでの制作をお願い致します。
(書類のカラーモードがRGBで作成されていますと、印刷時の色再現がモニタ上の色と異なる場合があります。)
- 2 画像解像度は写真の場合350dpi以上、文字(線画)は1200dpi以上になっているか確認をお願い致します。(推奨解像度を下回りますと、印刷時に十分な品質を確保できません。また、水増し拡大の場合も同様です。)
- 3 保存時のファイル形式は「Photoshop(.psd)」、「PhotoshopEPS(.eps)」、「TIFF(.tif)」をお願い致します。(他のファイル形式でも配置は可能ですが、CMYKに変換できない形式がありますので、印刷用途では使用できません。)



※これらの点に十分注意をして、データ作成を行ってください。

展開図データについて

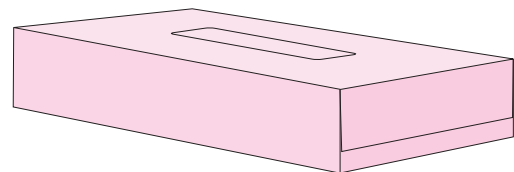


— 刃型ライン

■ 印刷範囲

断裁位置いっぱいにデザインする場合は、印刷サイズまで塗りだし(3mm)を付けてください。

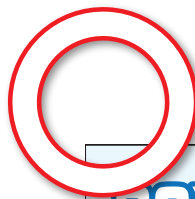
■ この部分は製品を組み立てた際、側面上部が重なります。



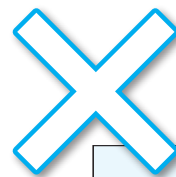
製品組立イメージ図

短側面の注意点

短側面の上下で繋がるデザインは機械的に前後左右最大2mmずれる場合がありますので、予めご了承ください。



重なりを考えられたデザインは仕上がりがとてもキレイです。



重なる部分に文字や柄をレイアウトしてしまうと組み立てた際に文字が側面上部に隠れてしまいます。

